



PRESS RELEASE

2026 年 10 月 7 日

【ブランド USA】 暫定プレジデント兼最高経営責任者に カリフォルニア観光局の前プレジデント兼 CEO、 キャロリン・ベテータ氏を任命

観光業界における数十年にわたる豊富なリーダーシップ経験を基盤にブランド USA を牽引へ

アメリカ合衆国の公式観光促進団体であるブランド USA の理事会はこのたび、暫定プレジデント兼最高経営責任者にキャロリン・ベテータ氏を任命することを発表しました。2026 年 11 月 9 日付けで就任するベテータ氏は、過去約 30 年にわたりカリフォルニア観光局のプレジデント兼 CEO を務め、2026 年 9 月に退任したばかりの、アメリカ観光業界における豊富なリーダーシップ経験を有する人材です。ブランド USA においても理事会の会長や CEO 代行を歴任するなど、長年にわたり密接に関わってきました。

ベテータ氏は、1998 年 1 月から 2026 年 9 月に退任するまで、カリフォルニア観光局のプレジデント兼 CEO を務め、カリフォルニア州の観光担当副長官、その後は州知事室ビジネス・経済開発局の戦略アドバイザーなども歴任しました。在任中、カリフォルニア観光局は全米初となる州全体の観光業界を対象とした賦課金制度の導入に成功したほか、海外事務所の開設やグローバル・マーケティング・キャンペーンの立案・実行を積極的に推し進めました。また、山火事や景気後退、新型コロナウイルス感染症のパンデミックからの観光産業の回復を牽引し、カリフォルニアを世界で最も人気の高い旅行先のひとつとして確立させています。同観光局の調査によると現在、同州の観光産業は計 120 万人の雇用と、年間 1,500 億ドル(約 23 兆 2,500 億円／1ドル＝155 円換算)を超える旅行消費額を生み出しています。

ベテータ氏とブランド USA の関わりは、その設立時にさかのぼります。米国の旅行・観光産業全体を代表する非営利の政策提唱団体、USトラベル・アソシエーション(U.S. Travel Association)の会長として、全米旅行産業協会(Travel Industry Association)と旅行事業協議会(Travel Business Roundtable)の統合に尽力し、ブランド USA 設立にあたる基盤づくりに貢献しました。その後、ブランド USA のオペレーション担当副会長、理事長、CEO 代行なども務めました。また、米国商務長官から米国旅行・観光諮問委員会(U.S. Travel and Tourism Advisory Board)の委員や、世界旅行ツーリズム協議会(World Travel & Tourism Council／WTTC)の執行委員も務めた経験を有します。2016 年には、USトラベル・アソシエーションによる「ホール・オブ・リーダーズ(Hall of Leaders)」に選出されています。



ブランド USA のプレジデント兼最高経営責任者を2年以上務めてきたフレッド・ディクソンは、11月13日付で退任し、ベテータ氏がその後任に就任します。ディクソンは、12月1日付でニューヨーク市観光会議局のプレジデント兼最高経営責任者に復職します。

「取締役会を代表し、キャロリンの就任を祝福するとともに、ブランド USA への復帰を心より歓迎します。キャロリンは以前にもブランド USA を率いた経験があり、私たちのパートナーや使命を熟知しています。また、カリフォルニア観光局を世界で最も高く評価される観光マーケティング組織のひとつへと成長させました。ブランド USA の再認可に向けて取り組むこの重要な時期に、豊富な経験と知見、情熱を備えた観光業界のプロフェッショナルである彼女が、再びその力を発揮してくれることは、ブランド USA、そして米国の旅行・観光業界にとって大変心強いことです。」(ブランド USA の理事長、トッド・デイビッドソンのコメント)

「ブランド USA は設立当初から私にとって特別な存在であり、組織と業界にとって非常に重要なこの時期に、この役割を担えることを光栄に思います。私が注力することはただ一つ、ブランド USA の組織再承認を達成し、この重要な組織が世界中の旅行者を米国へ迎えるという使命を今後も果たし続けられるようにすることです。海外からの訪米旅行は、米国経済や地域社会、そして国際競争力にとって極めて重要です。ブランド USA の理事会、チーム、そして業界パートナーの皆様とともに、再承認の実現に向けて取り組んでいくことを楽しみにしています。」(キャロリン・ベテータ氏のコメント)

「キャロリンはブランド USA の設立に貢献し、これまでにこの組織を率いてきた実績があります。組織のステークホルダーやビジネス環境、そして組織再承認へのプロセスを熟知しています。彼女の経験を活かし、海外からの訪米旅行を促進し、米国経済の成長と全米各地の地域社会の発展に貢献するというブランド USA の使命を、今後も着実に推進していけると確信しています。理事会、社員、パートナーの皆様感謝するとともに、円滑な移行に向けてキャロラインと連携してまいります。」(ブランド USA プレジデント兼最高経営責任者、フレッド・ディクソンのコメント)

■ ブランド USA について

アメリカ合衆国の公式観光促進団体であるブランド USA は、戦略的なマーケティング活動および旅行政策に関する情報発信を通じて、訪米意欲の高い海外旅行者を誘致し、米国経済の成長と地域社会の発展に貢献することを使命として掲げています。ブランド USA は、米国旅行促進法(Travel Promotion Act)に基づき設立され、合法的にアメリカへ渡航する旅行者を対象に、最新の査証および入国関連情報の発信を含むさまざまな活動を展開することで、アメリカ合衆国を世界有数の旅行先として位置づけています。なお、ブランド USA は、ESTA(電子渡航認証システム)利用者から徴収される費用の一部と、全米各地の観光局、旅行関連ブランド、その他民間企業・団体からの拠出金を財源として運営しており、米国納税者の負担なしで活動を行っています。

ブランド USA は過去13年間にわたり、旅行業界のパートナーと連携して実施してきたマーケティング施策を通じて、訪米旅行者を1,130万人増加させ、約381億ドル(約5兆9,055億円/1ドル=155円換算)の旅行消費を創出しました。その経済効果は累計で829億ドル(約12兆8,495億円)に達



し、年間平均 4 万件以上の雇用を支えています。さらに、これらの取り組みにより、連邦・州・地方政府において累計約 110 億ドル(約 1 兆 7,050 億円)の税収創出にも寄与しています。

当リリースに関するお問い合わせ先

ブランド USA 日本事務所（広報担当：早瀬、水口、野間）

TEL: 03-6261-5385 E-mail: BrandUSAJapan@aviareps.com